

## 平成22年度 成人式式典 お礼の言葉

平成22年度、新成人506名を代表し、お礼の言葉を申し上げます。本日はお忙しい中、小島卓町長様をはじめ、多数のご来賓の皆様のご臨席を賜り、このように盛大な成人式式典を挙行していただきありがとうございます。また、多くの皆様から私たちのためにお祝いと激励のお言葉をいただき、新成人一同心からお礼申し上げます。

私たちが生を受けてから早、20年が経ちます。成人となった自分の目で、改めて社会を眺めてみると、じつに様々な問題があると思いました。例えば、福祉・医療では少子高齢化や年金、医師不足の問題。教育ではゆとり教育の見直しや保育所・幼稚園一体化の議論。情報産業関係では、高機能の携帯型端末の急速な普及や、デジタル化時代の象徴ともいえる東京スカイツリーの建設が話題になっています。身近なところでは、環境保護意識の高まりとともに、マイバックやマイボトルを利用するなど、ごみを減らす努力をしている人が増えてきました。またスポーツ界では、バンクーバーオリンピックのスケート浅田真央選手や韓国の金妍児選手、ゴルフの石川遼選手といった同年代の選手の活躍が、私たちに大きな勇気を与えています。

しかし、私にとっては、昨今の政権交代や隣国との領土認識問題、裁判員制度の導入といった政治外交問題や司法制度などが、一気に身近な問題となったような気がします。いうまでもなく、二十歳となった私たちが、選挙権という国政に参加する権利を得て、積極的に意思を示すことが可能となったからです。

このように、20年という時間は、着実に社会を変え、未来へとつながっています。その中で私たちは、多くのことを学んできました。問題を解決すること、新しいものを作ること。どちらも一人でやろうとするのは大変なことです。しかし、一人ひとりが自分の考えを持ち、協力し力を合わせ取り組んでいけば、社会の問題を解決し、新しい未来を作っていけるのではないのでしょうか。

とはいえ、今日成人を迎えたばかりの私たちはまだまだ未熟です。人生の先輩方、これからも変わらずご指導のほど、よろしく願いいたします。

最後になりましたが、本日ご臨席賜りましたご来賓の皆様、私たちを支えて見守って下さっている家族、そして地域の方々、またこのように華やかな成人式を催していただきました関係者の皆様、すべての方々に深く感謝を申し上げお礼の言葉とさせていただきます。この気持ちを忘れず、一成人として歩んでいきたいと思えます。

平成23年1月9日 新成人代表 川崎 智香